

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 環境-02 環境基本計画推進事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	環境政策課	関連課					
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	市内事業者の環境マネジメントの推進、市役所の環境マネジメント、地球温暖化対策を含め環境保全の取組推進						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数	—	—	—			
	決算値(千円)	20,264	14,896	10,016			
	(国・県)	10,033	5,086	2,750			
	(負担金等)	1,328	377	222			
	(一般財源)	8,903	9,433	7,044			
	人員配置数	3.5	3.5	4.5			
	人件費(千円)	28,134	30,153	39,076			
事務事業運営経費	協働のパートナー	環境保全体 商工会議所等事業団	環境保全体 商工会議所等事業団体	環境保全体 商工会議所等事業団体			
	総事業費(千円)	48,398	45,049	49,092			
	市民1人当りの経費(円)	273	254	277			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
かまくらEA21等登録数	×	目標値	90件	120件	150件	180件	270件
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	75件	90件	98件	94件	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
環境基本計画推進事業	5,325千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	第2期環境基本計画進行管理、環境マネジメントシステムの推進			
環境基本計画推進事業(新)	14,939千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E		
	事業の概要	地球温暖化対策の推進、太陽光発電導入の推進、緑のカーテンの推進			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	地球温暖化対策に加えて、平成24年度に一部改訂した第2期環境基本計画のエネルギーの有効利用について施策の展開を検討していかなければならない。		
課題解決のための取組	平成25年度に策定を予定している鎌倉市エネルギー基本計画において体系的かつ具体的な施策の展開について検討を進める。	取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	平成24年度に行った第2期鎌倉市環境基本計画の一部改訂において、環境審議会の答申により目標④「エネルギーの有効利用」の達成指標から「環境マネジメントシステム等導入事業所数」を削除した。社会状況を見るとISO、環境省EA21の登録数は減少傾向にある。かまくらEA21等登録数を継続して事務事業の指標とする妥当性については今後検討が必要である。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 △	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 △			課長等名
		③有効性 △		↓	
		④公平性 △		D	環境政策課長 松永 健一

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
環境基本計画推進事業	主な個別事業	1314 環境審議会委員報酬	366	358	○	○	○	○
		1314 環境審議会部会委員報酬	150	0	△	△	△	△
		1314 事務補助嘱託員報酬	1,029	1,028	○	○	○	○
		1314 環境保全に関する講師等謝礼	30	47	○	○	○	○
		1314 かまくら環境保全推進会議委員謝礼	90	69	○	○	○	○
		1314 エコアクション21普及アドバイザー等謝礼	220	110	○	○	○	○
		1314 環境教育アドバイザー等講師謝礼	400	492	○	○	○	○
		1314 環境保全促進助成事業講師謝礼等	346	309	○	○	○	○
		1314 事務補助嘱託員費用弁償	101	91	○	○	○	○
		1314 環境審議会委員費用弁償	89	51	○	○	○	○
		1314 不要紙類一時保管運搬業務等委託料	3,068	1,835	○	○	○	○
		1314 雨水貯留槽購入費補助金	600	583	○	○	○	○
環境基本計画推進事業(新)	主な個別事業	1328 緑のカーテン普及事業	95	95	○	○	○	○
		1328 電気自動車駐車場料金負担金(都市連携)	293	96	○	○	○	○
		1328 太陽光発電設備設置費補助金	15,600	14,748	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							